SOTEC

サポートのご案内

（本書では、弊社のサポートについてご案内します。製品をご使用の際に困ったときや、問題が発生したときなどは、まず本書をお読みください。）

- カスタマーID登録・保証書お申し込みについて
- 困ったときには
- コンピュータウイルスからパソコンを守るために
- 修理依頼をいただく場合には
- 工場出荷時の状態に戻す
- 廃棄について
- 保証規定

●本書で使用しているアプリケーション名

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 または Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0
Outlook Express 6	Microsoft® Outlook™ Express 6.0

目　次

1 カスタマーID登録・保証書お申し込みについて

2 困ったときには

3 コンピュータウイルスからパソコンを守るために

4 修理依頼をいただく場合には

5 工場出荷時の状態に戻す

6 廃棄について

1 カスタマーID登録・保証書お申し込みについて

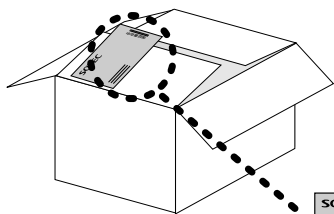
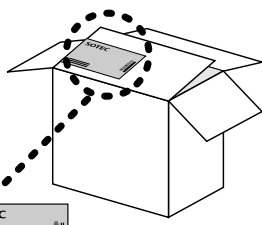
ソーテック製品をお使いいただくにあたり、はじめに「カスタマーID登録・保証書お申込書」に必要事項を明記の上、ご投函ください。

カスタマーID登録・保証書のお申し込みの手続き

カスタマーID登録・保証書のお申し込みから、「SOTECカスタマーIDカード」と「保証書」をお客様のもとへ送付するまでの流れを説明します。

ソーテックダイレクトオンラインおよび直営ショップでご購入のお客様は、カスタマーID登録・保証書お申し込みの手続きは不要です。

①「カスタマーID登録・保証書お申込書」を用意してください。

●デスクトップパソコン
・PC STATION、AFiNA PC、AFiNA Styleなど

●ノートパソコン
・WinBook、e-note、AFiNA noteなど

「カスタマーID登録・保証書お申込書」は、ご購入いただいた製品の外箱に貼り付けられている封筒の中に同封されています。

②「カスタマーID登録・保証書お申込書」に必要事項を書き込んでください。

ご記入例　SOTEC　引き取り修理

カスタマーID登録・保証書お申込書

SOTEC カスタマー ID Cardと保証書は下記に記載いただいたご住所または所在地にお送りします。
ご住所とご送付先が異なる場合は裏面のご送付先をご記入ください。
※SOTEC カスタマー ID Cardをお持ちの方には「1年間有効の保証書」のみの送付となりますのでご了承ください。

フリガナ	ヨコハマ　タロウ
お客様名	横浜　太郎　様
カスタマーID（14桁）（既にIDを取得済みの方）	12345678910123
ご送付先　フリガナ	カナガワケン　ヨコハマシ　○○ク　○○○○○○○○○○
〒000-0000	神奈川 都道府県　横浜 市区郡町村　○○区○○○0-0-00
お電話	045 - 000 - 0000　FAX 045 - 000 - 0000
電子メールアドレス	yokohama@xx.sotec.co.jp
品名／型名／製造番号	
※アップグレード情報や商品情報	☑希望する □希望しない
お買い上げ日	平成／西暦 0000 年 00 月 00

■ 法人でご購入の方は下記のご記入をお願いします

フリガナ	
会社名／部署名	ご担当者
所在地　フリガナ	
〒	都道府県　市区郡町村
お電話	- - FAX - -
電子メールアドレス	

販売店	※必ずご記入ください。
店名	●下記店名、住所、電話番号などは販売店記入例です。PC SHOP ソーテック
住所	〒000-0000　横浜市○区○○0-0-00
電話	TEL.045-000-0000

◆◆◆ ご注意 ◆◆◆
ソーテックオンラインダイレクトおよび直営ショップでご購入のお客様は、カスタマー登録・保証書お申込書は必要ありません。直接「1年間有効の保証書とSOTECカスタマーIDCard」をご登録住所にご送付させていただきます。（お買い上げ後、約2週間程度）

「カスタマーID登録・保証書お申込書」は下に「保証書（未登録お客様用）」が貼り付けられていて、2枚綴りの複写式の形になっています。「カスタマーID登録・保証書お申込書」に必要事項を記入の上、「保証書（未登録お客様用）」をはがします。

③「カスタマーID登録・保証書お申込書」を「SOTECカスタマー登録係」へ送付してください。

「カスタマーID登録・保証書お申込書」のみを「SOTECカスタマー登録係」に送付してください。
「保証書（未登録お客様用）」は、お客様のお手元で紛失しないよう保管してください。

④「SOTECカスタマーIDカード」と「保証書」をお客様のもとへ送付いたします。

お客様よりいただいた、「カスタマーID登録・保証書お申込書」に記入されたお客様情報を弊社データベースに登録後、「SOTECカスタマーIDカード」と「保証書」を発行し、お客様のもとへ送付いたします。
「SOTECカスタマーIDカード」に記載されている14桁の数字が、お客様のカスタマーIDになります。

カスタマーID登録・保証書をお申し込みいただくと…

カスタマーID登録・保証書のお申し込みいただくと、次のような特典があります。

より円滑なサポートサービスの提供

「カスタマーID登録・保証書お申込書」に記入されたお客様情報は弊社データベースに登録しています。お客様が、お問い合わせ時にカスタマーIDをお伝えいただくだけで、お客様情報やこれまでの対応内容を踏まえた、より円滑なサポートサービスを提供いたします。

保証期間の延長

本製品の保証期間が購入日より1年間に延長されます。
(お申し込みされない場合は、購入日より3カ月間)

カスタマーID登録、保証書お申し込みに関するお問い合わせ先

カスタマーID登録や登録内容の変更、保証書の送付については、SOTECテクニカルサポートセンタにお問い合わせください。
お問い合わせ先は、「SOTECテクニカルサポートセンタに問い合わせる」(☞ 7ページ)をご参照ください。

2 困ったときには

本製品をご利用中に問題が発生した場合の対処法を説明します。

問題解決の流れ

問題が発生した場合は、あわてずに次のフローチャートにしたがって対処してください。
また、画面にメッセージなどが表示されている場合は、メッセージの内容を書き留めておくことをおすすめします。

ステップ1　マニュアルやヘルプで調べる

本機や、本機にインストールされているソフトウェアの使用方法については、下記をご覧ください。
・本製品について調べるには･･･(☞ 5ページ)
・ソフトウェアについて調べるには･･･(☞ 5ページ)

ステップ1で解決しない場合は・・・

ステップ2　ホームページで調べる

よくある質問や現在分かっている問題については、ユーザーズガイドの「困ったときには」や、下記URLから、サポートページをご参照ください。

SOTEC URL　http://www.sotec.co.jp/

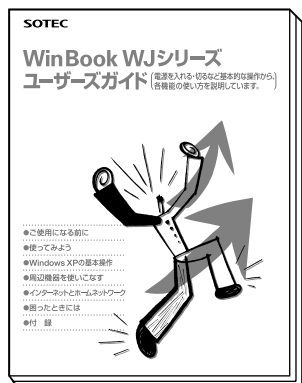
ステップ2で解決しない場合は・・・

ステップ3　SOTECテクニカルサポートセンタに問い合わせる

SOTECテクニカルサポートセンタへは、電話・インターネットなどを利用してお問い合わせいただくことができます。
・電話でのお問い合わせ･･･ (☞ 7ページ)
・フォームメールでのお問い合わせ･･･ (☞ 7ページ)

ステップ1　マニュアルやヘルプで調べる

本製品について調べるには・・・

本製品について調べるには、製品に付属している「ユーザーズガイド」をご活用願います。
ユーザーズガイドでは製品の使い方、問題解決について説明しています。

製品によって表紙は異なります。

ソフトウェアについて調べるには・・・

ソフトウェアについて調べるには、製品に付属しているソフトウェアマニュアルをご活用願います。（ソフトウェアによってはオンラインマニュアルで提供しています）
また ソフトウェアのヘルプでも調べることができます。

ソフトウェアのバンドル内容は製品により異なります。

オンラインマニュアルとは、パソコン上で閲覧可能なマニュアルのことです。閲覧方式として一般的なものに、インターネットエクスプローラで閲覧するHTMLファイル、Acrobat Readerで閲覧するPDFファイルなどがあります。

Windowsのスタートメニューから『本製品をご購入のお客さまへ』を選択してください。
ここでは、お客さまがご購入いただいた製品に関する有用な情報が紹介されています。

ステップ2　ホームページで調べる

SOTECのホームページにアクセスして、ウィザード、FAQ、Q&A形式で問題を解決できます。
ホームページにアクセスするには、インターネットに接続している必要があります。

1

ソーテック オンライン - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　お気に入り(A)　ツール(T)　ヘルプ(H)
アドレス(D)　http://www.sotec.co.jp/

http://www.sotec.co.jp/

インターネットエクスプローラを起動して、アドレスボックスにSOTECのURL (http://www.sotec.co.jp/) を入力して [ENTER]キーを押します。

アドバイス

URLとは、インターネット上にあるWebページにアクセスするためのアドレスのことです。

2

「サポート」をクリック

表示されたSOTECホームページのメニューより、「サポート」を選択してください。

3

表示されたメニューより、「e-Support」を選択してください。

4

左図のようなメニューが表示されます。「1.ウィザード」、「2.よくある質問（FAQ）」、「3.Q&A」などで調べることができます。

チェック

製品によっては、Q&Aにアップしていないのもあります。(順次更新します)

アドバイス

FAQとは、よくある質問とその質問に対する解答をまとめたQ&A集のことです。

SOTECオンラインサポートのホームページでは、Q&AやFAQの他にドライバのアップデートプログラムや、役に立つ情報を掲載しております。

ステップ3　SOTECテクニカルサポートセンタに問い合わせる

ステップ1、2でもトラブルが解決しなかったときは、SOTECテクニカルサポートセンタに電話、フォームメールを利用してお問い合わせください。

SOTECテクニカルサポートセンタとは･･･

SOTEC テクニカルサポートセンタでは、製品に関する技術的な質問や修理の受付などについて承っております。

電話でのお問い合わせ

電話をかけるときは･･･

お客様のトラブルを早急に解決するために、電話をおかけになる前には、本製品をお手元に置き、次のことをご確認ください。

① お客様のカスタマーID 番号(14桁)
② お客様のお名前(法人の方は会社名、ご担当者名)
③ ご連絡先(電話番号、郵便番号、ご住所)
④ 本製品をご購入された販売店名、代理店名、ご購入日
⑤ 本製品の名称、シリアル番号または製造番号
⑥ 弊社で直接ご購入され、ご購入の際にハードディスクやメモリを増設している場合はその内容
⑦ お客様が増設された機器等の有無
⑧ 梱包箱の有無
⑨ 障害発生日
⑩ 障害発生内容(トラブルが起きたときの状態と状況、また表示されているメッセージの内容)
⑪ 再現手順(障害発生したきっかけの詳細)

SOTECテクニカルサポートセンタ電話番号

TEL　0120-91-1134（無料）

携帯/PHSからのお問い合わせ番号
TEL　045-650-6040
※通話料はお客様負担となります。

9:00～18:00(月～金)
9:00～17:00(土・日祝祭日)

フォームメールでのお問い合わせ

SOTECオンラインサポートのホームページ上からフォームメールを利用してお問い合わせいただけます。

フォームメール

http://sotec.techsupport.co.jp/のアドレスにある「サービス案内」－「フォームメールサポート」からご利用いただけます。

受付時間：年中無休24時間
返　　信：月～土、及び日祝祭日
（但し、弊社指定休業日は除きます）

3 コンピュータウイルスからパソコンを守るために

ここでは、コンピュータウイルスに関する簡単な説明と、コンピュータウイルスからパソコンを守るための予防法等について説明します。

コンピュータウイルスとは

ハードディスクのデータの破壊や、パソコンが正常に認識しなくなるなどの症状を引き起こす、悪質なプログラムのことです。
病気のウイルスのように空気感染はしません。コンピュータウイルスは、外部記憶メディア(FD、CD-ROMなど)やインターネットなど、物理的な感染ルートを経由してパソコンに感染します。
このコンピュータウイルスを発見・駆除するためにウイルス対策ソフト(ワクチンソフト)があります。

コンピュータウイルスの予防

コンピュータウイルスからパソコンを予防するために次のことに注意してください。

怪しいメールやその添付ファイルの取扱いには注意してください

下記のような場合、添付ファイルは開かないようにしましょう。また転送や返信はせず、削除するようにしてください。

・送り主が不明または疑わしい電子メールに添付されているファイル

・親しい友人や知人から送られたように思えるが、内容に覚えがない電子メールの添付ファイル

・表題が不審な電子メールの添付ファイル

・思い当たるふしがない電子メールの添付ファイル

インターネットからのファイルのダウンロードには注意してください

サイトが合法で信頼できるものか確認し、サイト上でウイルス対策プログラムがファイルをチェックしているかどうかも確認してください。確信が持てない場合は、ファイルのダウンロードを中止するか、ファイルを外部記憶メディアにダウンロードし、ウイルス対策ソフトでチェックしてください。

定期的にファイルのバックアップをとりましょう

コンピュータウイルスによってファイルが破壊されても、破壊される前にバックアップをとっていれば、被害は最小限度に抑えることができます。

コンピュータウイルスに感染したら

コンピュータウイルスに感染したら、ウイルス対策ソフトを使用して発見・駆除してください。
弊社製のパソコンにインストールされているウイルス対策ソフトの使用方法は、オンラインヘルプをご参照ください。また、ウイルス対策ソフトについてわからないことがある場合は、ウイルスソフトのテクニカルサポートまでご連絡ください。

修理依頼をいただく場合には

本製品を修理依頼するまでの流れを説明しています。本製品に修理依頼をされる前にお読みください。

修理依頼をされる前に…

修理を依頼される前に、「困ったときには」のステップ1とステップ2(☞ 5～6ページ)で、問題が解決できないかご確認ください。
ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すリカバリーを実行したり(☞ 11ページ)、機器の増設をもとに戻すことで 復旧する場合があります。
修理依頼をされる前に、一度お試しください。

修理までの流れ

①SOTECケアシートをご用意ください。

SOTECケアシートは、製品に付属しています。
※ケアシートをお持ちでない場合は、SOTECテクニカルサポートセンタまでご連絡ください。

②SOTECテクニカルサポートセンタにお電話ください。

お問い合わせ先について(☞ 7ページ)

③SOTECテクニカルサポートセンタで修理が必要か判断します。

問題の内容を確認して、修理が必要と判断すると、修理受付の際に修理番号をお知らせします。
この修理番号はお手持ちのSOTECケアシートにご記入ください。

④製品の引き取り時間を決めてください(一部地域を除く)。

お引取り日は、翌日の午後以降とさせていただきます。
一部地域によっては、AもしくはDの時間帯が指定できない場合があります。
あらかじめ御了承ください。

A. 午前中
B.12:00～15:00
C.15:00～18:00
D.18:00～21:00 （平日のみ）

2002年1月現在の時間帯

⑤データのバックアップをお取りください。

修理のご依頼をされる場合、必要なデータのバックアップは、必ずお取りください。

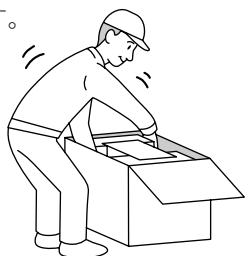
データのバックアップには以下の方法などがあります。
・フロッピーディスクにコピーする
・CD-R/RWディスクにコピーする
※お使いのモデルにより、フロッピーディスクドライブ、CD-R/RWドライブが搭載されていない場合があります。

バックアップの例が12ページに記載されています。ご参照ください。
また、修理でハードディスクドライブを交換・初期化したことで発生する、お客様の損害や不利益は、弊社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

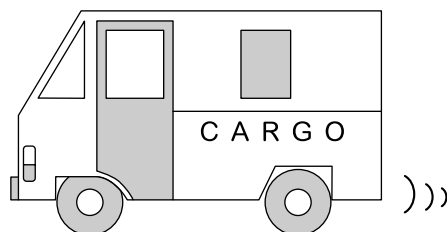
⑥増設した機器を製品から取り外します。

ご購入後にお客様が増設した機器は、修理に出す前に必ず取り外してください。

⑦弊社指定の宅配業者が、お客様宅まで製品を引き取りに伺います。

お客様は製品を玄関先までご用意ください。宅配業者が梱包物をチェックいたしますので、確認後にサインをお願いします。

SOTECテクニカルサポートセンタからの依頼がない限り、本体と保証書(または仮保証書)、および必要事項を記載したSOTECケアシートをご用意ください。

※ご購入時の梱包箱(緩衝材含む)をお持ちの場合は、お手数ですが、お客様ご自身で梱包してください。
なお、その際には保証書(または仮保証書)とSOTECケアシートを必ず同梱してください。

⑧修理完了後、弊社指定の宅配業者によりお客様宅までお届けいたします。

保証期間中でも有償になる場合があります。保証規定(☞ 28ページ)をご参照ください。

5 工場出荷時の状態に戻す

製品をご購入時の状態に戻すリカバリーの方法について説明します。

工場出荷時の状態に戻す(リカバリー)までの流れ

次の手順で操作してください。

ステップ1　リカバリー前の準備をする

リカバリーを実行すると、ハードディスクの情報が消去されます。
必要なデータをフロッピーディスク、またはCD-R/RWディスクなどに保存してください。

ステップ2　BIOSを初期化する

製品に付属の「リカバリーCD-ROM」に、BIOSマニュアルを収録しています。
設定方法は機種によって異なりますので、BIOSマニュアルをご参照ください。

ステップ3　リカバリーを実行する

パソコンの電源を入れて、CD-ROMイジェクトボタンを押し、「リカバリーCD-ROM」をCD-ROMドライブに入れます。
機種によっては、CD-ROMではなくCD-R/RW、DVD-ROM、またはドライブなしなどの場合があります。ドライブなしの場合は、弊社推奨のCD-ROMドライブを用意する必要があります。
リカバリー方法は、リカバリーCD-ROMケースの裏面に記載していますのでご参照ください。

ステップ4　パソコンの環境を元に戻す

リカバリーを実行後は、パソコンを以前使用していた環境に戻す作業が必要です。
また、バックアップをとったデータを元に戻してください。

ステップ1　リカバリー前の準備をする

ファイルのバックアップ

リカバリーを実行すると、ご購入後にお客様が作成・追加したデータは全て消去され、製品出荷時の状態に戻ります。お客様が作成・追加したデータは、外部記憶メディア(フロッピーディスク、CD-R/RWなど)に保存してください。

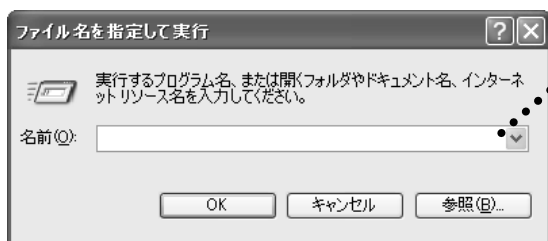
Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップ

Internet Explorerの『お気に入り』は「C:￥Documents and Settings￥＊＊＊＊￥Favorites」フォルダ内に格納されています(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)。次の手順にしたがって、バックアップをとってください。

1

[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択します。

【ファイル名を指定して実行】画面が表示されます。

2

「C:￥Documents and Settings￥＊＊＊＊￥Favorites」を入力し、[OK]ボタンをクリックします(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)。

【お気に入り】画面が表示されます。

3

【お気に入り】画面内にある、全てのフォルダとファイルを、外部記憶メディアに保存します。

以上でInternet Explorerの『お気に入り』のバックアップ作成は完了です。

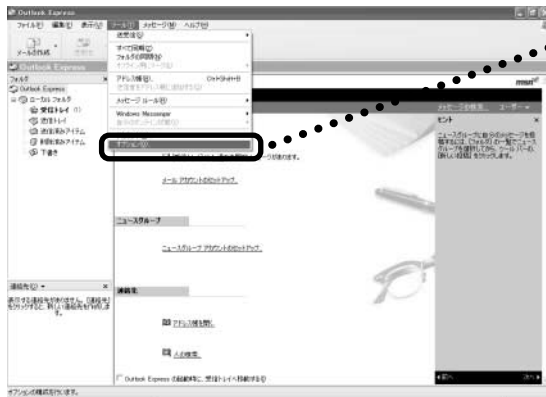
Outlook Express 6のメールのバックアップ

Outlook Express 6のメールのバックアップは次の手順にしたがって操作してください。

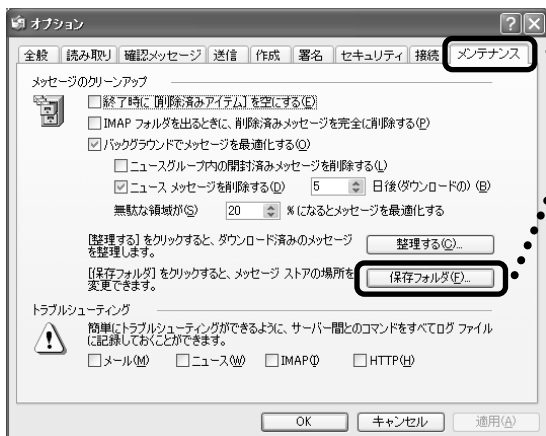
1

Outlook Expressを起動します。

複数のユーザーでOutlook Expressを使用している場合は、バックアップをとりたいユーザーのアカウントを選択(ログイン)します。

2

[ツール]メニューより[オプション]を選択します。

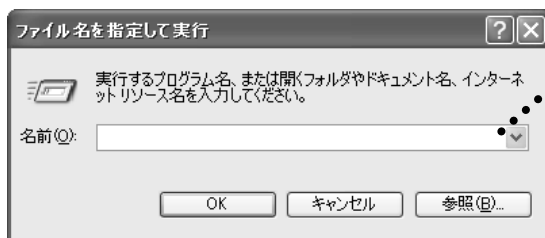
【オプション】画面が表示されます。

3

[メンテナンス]タブをクリックし、[保存フォルダ]ボタンをクリックします。

【保存場所】画面が表示されます。

4 【保存場所】画面に表示されている保存場所のアドレスをメモします。

5 [スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択します。

【ファイル名を指定して実行】画面が表示されます。

6 手順4でメモした内容を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

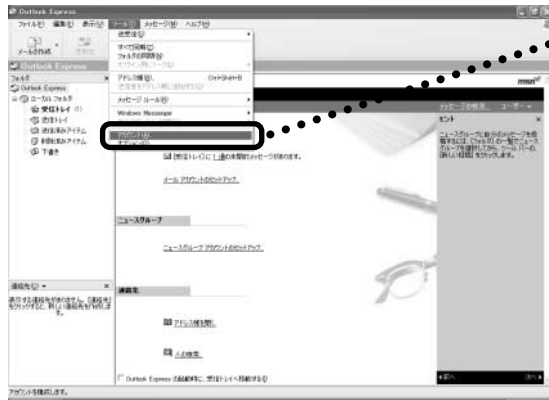
画面が表示されます。

7 表示されているファイルの中から、拡張子が「*.dbx」になっているファイルを全て、外部記憶メディアに保存します。

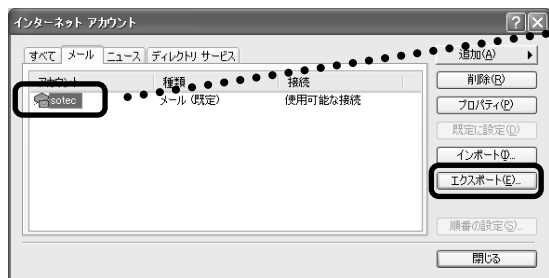
以上でOutlook Express 6のメールのバックアップ作成は完了です。

Outlook Express 6のメールアカウントのバックアップ

Outlook Express 6のメールアカウントのバックアップは次の手順にしたがって操作してください。

1

Outlook Expressを起動した状態で、[ツール]メニューより[アカウント]を選択します。

【インターネットアカウント】画面が表示されます。

2

[メール]タブをクリックし、表示されるアカウントの一覧からバックアップをとりたいアカウントを選択し、[エクスポート]ボタンをクリックします。

【インターネットアカウントのエクスポート】画面が表示されます。

3

任意でファイル名と保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。

【インターネットアカウント】画面に戻ります。

以上でOutlook Express 6のメールアカウントのバックアップ作成は完了です。

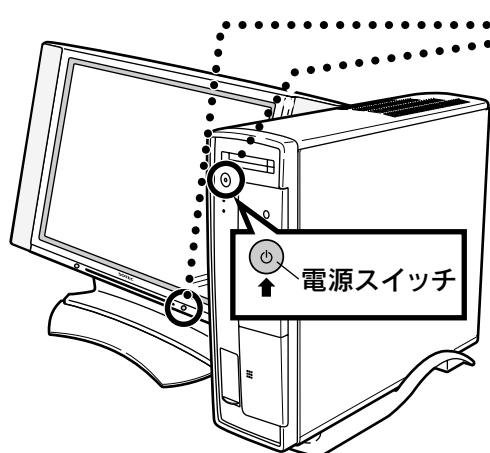
ステップ2　BIOSを初期化する

BIOSの操作方法はパソコンの機種により異なります。パソコンに付属の「リカバリーCD-ROM」にBIOSのマニュアルがPDF形式で収録されています。参照して初期化してください。

ステップ3　リカバリーを実行する

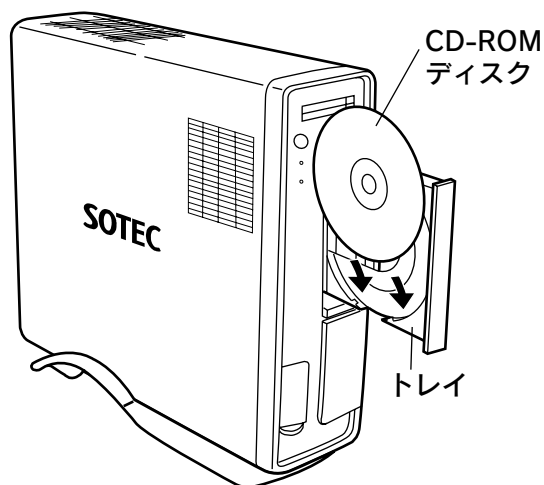
リカバリーの実行は、パソコンに付属している「リカバリーCD-ROM」を使用します。

1

電源スイッチ

※イラストはPC STATION Vシリーズのものです。

パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

・リカバリーを実行するときは、プリンタやその他の周辺機器は接続しないでください。OSの設定時にマニュアルと異なる手順になる可能性があります。
・ノートパソコンでリカバリーを実行するときは、必ずACアダプタを使用して、コンセントから電源を確保してください。

2

※イラストはPC STATION Vシリーズのものです。

CDイジェクトボタンを押して「リカバリーCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入します。

・CD-ROMドライブは、機種により名称が異なります。
・ドライブを2つ以上搭載しているモデルは、上段のドライブにリカバリーCD-ROMをセットします。

3

[スタート]ボタン→[終了オプション]を選択します。

4

[再起動]ボタンをクリックします。

パソコンが起動します。しばらくすると画面にリカバリー・プログラムのメニュー画面が表示されます。

5

ハードディスクの復元について

リカバリーCDを使用してハードディスクの内容を復元しますと、
お客様が本製品をセットアップする前の状態になります。
（一部インストールされないアプリケーションがある場合があります）

また、復元時には、お客様がご購入後にインストールされましたアプリケーションやハードディスクに保管されているデータ等はすべて消えてしまいますので、お手数ですが各種データは事前にバックアップ作業を行った後ハードディスクの復元を行う事をお勧めします。

復元を行う場合は ……………………………… ［Y］キーを押してください

データを保存する為、中断する場合は ………… ［N］キーを押してください

SOTEC

Y キーを押します。

【復元方法の選択】の画面が表示されます。

6

復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1．一般的な方法で復元を行う場合 ………………… ［1］キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Cドライブのみ復元を行います。

2．高度なオプションを選択して復元を行う場合 …［2］キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を１つにして復元を行います。（すべての内容が消去されます）

← 復元を中止する場合 ………………………… ［N］キーを押してください

SOTEC

復元方法を選択します。

一般的な方法で復元を行いたい場合
1 キーを押します。 →手順7へ

高度なオプションを選択して復元を行いたい場合
2 キーを押します。 →手順8へ

復元を中止する場合
N キーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリーCD-ROMを取り出し、Ctrl キーと Alt キーを押しながら Delete キーを押して、パソコンを再起動します。

アドバイス

復元方法として、２種類の復元方法を用意しています。
「高度なオプションを選択して復元を行う場合」を選択した場合、ハードディスクの構成を変更する必要があるため、全てのデータが消えてしまいます（復旧することはできません）。
通常は「一般的な方法で復元を行う場合」を選択することをおすすめします。この場合、Cドライブのみ消去します。

7

復元の開始（一般）

この方法では、複数のパーティションが存在するハードディスクのCドライブにリカバリーを行います。

注意！
リカバリーの操作を開始すると、Cドライブの内容は消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリーを開始する場合 ………… [Ctrl] キーを押しながら [S] キーを押してください

← リカバリーを中止する場合 ………… [N]キーを押してください

SOTEC

リカバリーを実行します。（一般的な復元方法を選択した場合）

リカバリーを開始する場合
Ctrl キーを押しながら S キーを押します。
→手順12へ

リカバリーを中止する場合
N キーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリーCD-ROMを取り出し、Ctrl キーと Alt キーを押しながら Delete キーを押して、パソコンを再起動します。

8

復元方法の選択(2)

復元のオプションを選択してください。
注意!重要なデータは作業を行う前にバックアップを行ってください。

1. 8GBをCドライブ、
　残りをDドライブに使用する場合 ……… [1]キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは2分割されます。

2. 全体の半分をCドライブ、
　残りをDドライブに使用する場合 ……… [2]キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは2分割されます。

3. 全体をCドライブとして使用する場合 … [3]キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは1つになります。

← 戻る ……………………………… [N]キーを押してください

SOTEC

復元のオプションを選択します。(高度な復元方法を選択した場合)

「高度なオプションを選択して復元を行う場合」を選択した場合、ハードディスク構成を変更する必要があるため、全てのデータが消えてしまいます。
復旧することは不可能ですので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

8GBをCドライブ、残りをDドライブにして復元する場合

[1]キーを押します。
→ハードディスクの内容すべてが消去され、ハードディスクが2つに分かれます。
→手順9へ

全体の半分をCドライブ、残りをDドライブにして復元する場合

[2]キーを押します。
→ハードディスクの内容すべてが消去され、ハードディスクが2つに分かれます。
→手順10へ

全体をCドライブにして復元する場合

[3]キーを押します。
→ハードディスクの内容すべてが消去され、ハードディスクが1つになります。
→手順11へ

前のメニューに戻る場合

[N]キーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリーCD-ROMを取り出し、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押して、パソコンを再起動します。

9

復元の開始

この方法では8GBをCドライブ、残りをDドライブとして
リカバリーを行ないます。

注意!
リカバリーの操作を開始すると、ハードディスクの内容はすべて消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリーを開始する場合 ………… [Ctrl]キーを押しながら [S]キーを押してください

← リカバリーを中止する場合 ………… [N]キーを押してください

SOTEC

リカバリーを実行します。(8GBをCドライブ、残りをDドライブにして復元)

リカバリーを開始する場合

[Ctrl]キーを押しながら[S]キーを押します。
→手順12へ

リカバリーを中止する場合

[N]キーを押します。
→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリーCD-ROMを取り出し、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押して、パソコンを再起動します。

10

復元の開始

この方法では全体の半分をＣドライブ、残りをＤドライブとして
リカバリーを行ないます。

注意！
リカバリーの操作を開始すると、ハードディスクの内容はすべて消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリーを開始する場合 ………… [Ctrl] キーを押しながら [S] キーを押してください

← リカバリーを中止する場合 ………… [N] キーを押してください

SOTEC

リカバリーを実行します。（全体の半分をＣドライブ、残りをＤドライブにして復元）

リカバリーを開始する場合

Ctrl キーを押しながら S キーを押します。

→手順12へ

リカバリーを中止する場合

N キーを押します。

→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリーCD-ROMを取り出し、Ctrl キーと Alt キーを押しながら Delete キーを押して、パソコンを再起動します。

11

復元の開始

この方法では全体をＣドライブとしてリカバリーを行ないます。

注意！
リカバリーの操作を開始すると、ハードディスクの内容はすべて消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリーを開始する場合 ………… [Ctrl] キーを押しながら [S] キーを押してください

← リカバリーを中止する場合 ………… [N] キーを押してください

SOTEC

リカバリーを実行します。（全体をＣドライブにして復元）

リカバリーを開始する場合

Ctrl キーを押しながら S キーを押します。

→手順12へ

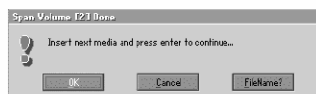
リカバリーを中止する場合

N キーを押します。

→キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリーCD-ROMを取り出し、Ctrl キーと Alt キーを押しながら Delete キーを押して、パソコンを再起動します。

12

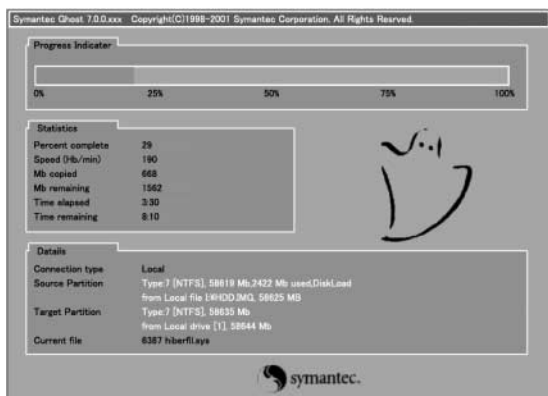
リカバリーについての補足説明

リカバリー中、このようなウィンドウが表示されます。

この表示は、プロダクトリカバリーCD－ROMのメディア交換が必要な際、表示されます。

このウィンドウが表示されましたら、プロダクトリカバリーCD－ROMを次のメディアに交換して、[Enter]キーを押してください。

何かキーを押すとリカバリーを開始します。

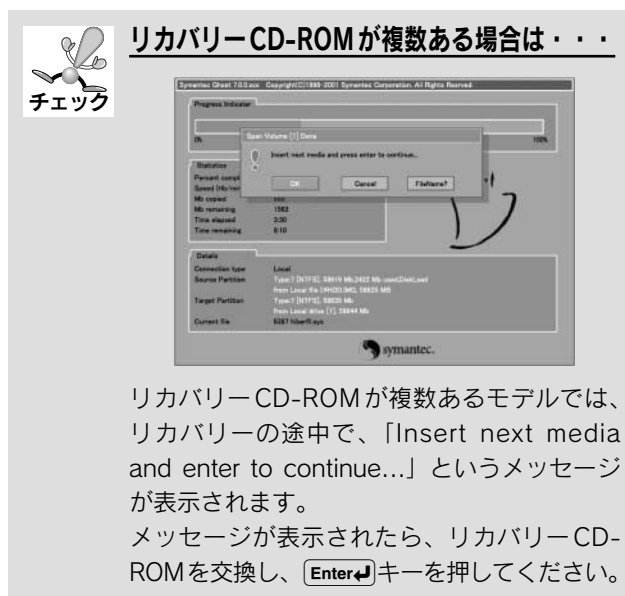
【リカバリーについての補足説明】の画面が表示されるので、何かキーを押します。

13

リカバリーが開始されます。

14

復元が完了すると、以下の画面が表示されますので、リカバリーCD-ROMを取り出します。

チェック

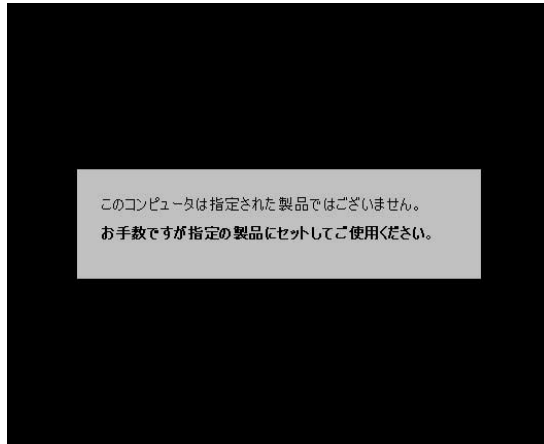
リカバリーCD-ROMが複数ある場合は・・・

リカバリーCD-ROMが複数あるモデルでは、リカバリーの途中で、「Insert next media and enter to continue...」というメッセージが表示されます。
メッセージが表示されたら、リカバリーCD-ROMを交換し、Enter キーを押してください。

15

Ctrl キーと Alt キーを押しながら、Delete キーを押します。

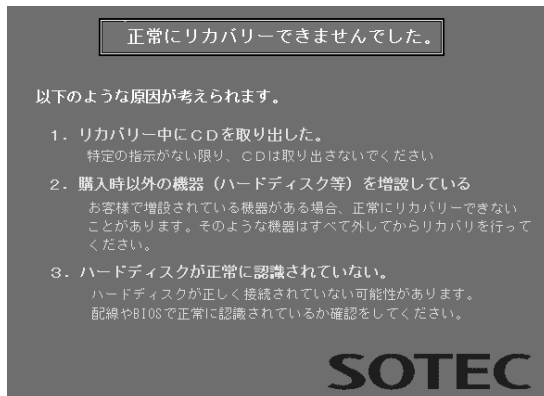
パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windows XPのセットアップが始まります。「ファーストステップガイド」を参照して、セットアップを完了させてください。

リカバリー時のエラーメッセージとその対処法

■「このコンピュータは指定された製品ではございません。お手数ですが指定の製品にセットしてご使用ください。」

このエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

□リカバリーを行うパソコン専用のリカバリーCDを使用していない。

□リカバリーCDを指定されていないパソコンに使用した。
→正しいリカバリーCDがセットされているか確認してください。

■「正常にリカバリーできませんでした。」

このエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。
□リカバリー中にCDを取り出した。
→リカバリー手順1に戻り、再度リカバリーしてください。

□製品購入後、機器(ハードディスク)を増設している。
→製品購入後に機器を増設した場合、正常にリカバリーできないことがあります。増設機器をすべて取り外してから、手順1に戻り、再度リカバリーしてください。

□ハードディスクが正常に認識されない。
→ハードディスクの配線や、BIOSで正常に認識されているかを確認してください。

■「ハードディスクが異常です」

ハードディスクが異常です

ハードディスクに異常が発見されました。

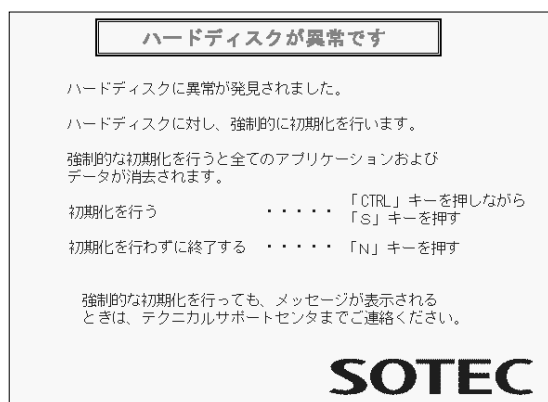
ハードディスクに対し、強制的に初期化を行います。

強制的な初期化を行うと全てのアプリケーションおよび
データが消去されます。

初期化を行う ・・・・・ 「CTRL」キーを押しながら「S」キーを押す

初期化を行わずに終了する ・・・・・ 「N」キーを押す

強制的な初期化を行っても、メッセージが表示される
ときは、テクニカルサポートセンタまでご連絡ください。

SOTEC

このエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

□ハードディスクの一部に異常がある。
→ハードディスクの初期化を行う必要があります。Ctrlキーを押しながらSキーを押して、リカバリーを行ってください。

データのバックアップをとっていない場合は、Nキーを押してください。キャンセルのメッセージが表示されるので、リカバリーCD-ROMを取り出し、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して、パソコンを再起動します。

ステップ4　パソコンの環境を元に戻す

リカバリー終了後、パソコンの環境をリカバリー前に使用していた状態に戻します。

パソコンの環境設定

パソコンの環境設定を行います。「ファーストステップガイド」「ユーザーズガイド」などを参照してください。

製品購入後にインストールした アプリケーションソフトの設定

製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールする必要があります。
インストールについての詳細は、アプリケーションソフトのマニュアルを参照するか、アプリケーションソフトのメーカにお問い合わせください。

バックアップしたファイルを元に戻す

12ページでバックアップをとったデータを元に戻します。
外部記録メディアにバックアップをとったデータは、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

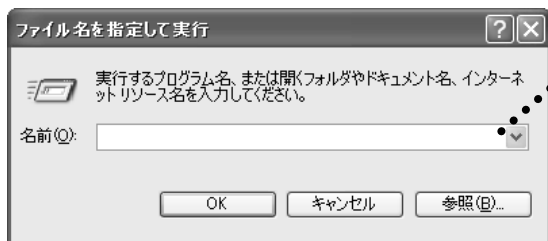
Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを読み込む

バックアップをとったInternet Explorerの『お気に入り』は、「C:￥Documents and Settings￥＊＊＊＊￥Favorites」フォルダ内に格納されています(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)。

1

[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]を選択します。

【ファイル名を指定して実行】画面が表示されます。

2

「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」を入力し(＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります)、[OK]ボタンをクリックします。

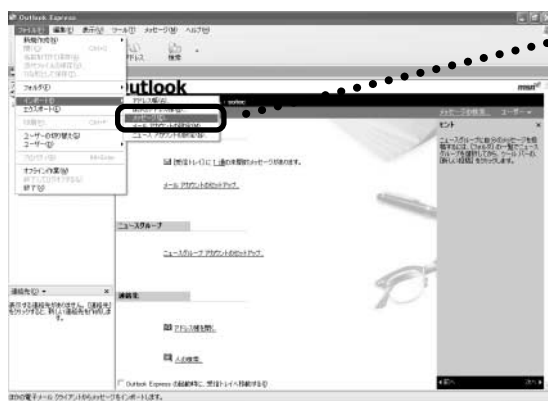
【お気に入り】画面が表示されます。
以上でInternet Explorerの『お気に入り』のバックアップの読み込みは完了です。

3

外部記憶メディアからバックアップをとったフォルダやファイルを、【お気に入り】画面内へコピーします。

Outlook Express 6のメールのバックアップを読み込む

バックアップをとったOutlook Express 6のメールを読み込むには、次の手順にしたがって操作してください。

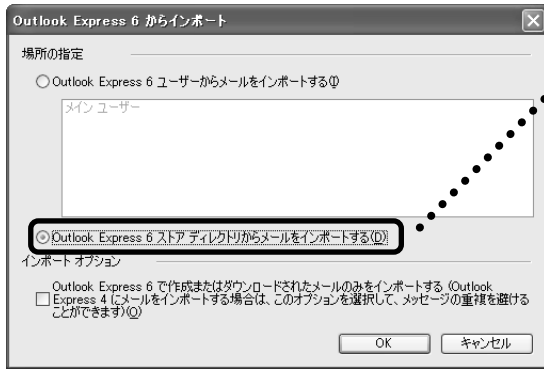
1

Outlook Expressを起動した状態で、[ファイル]メニューから[インポート]-[メッセージ]の順に選択します。

【Outlook Express インポート】の画面が表示されます。

2

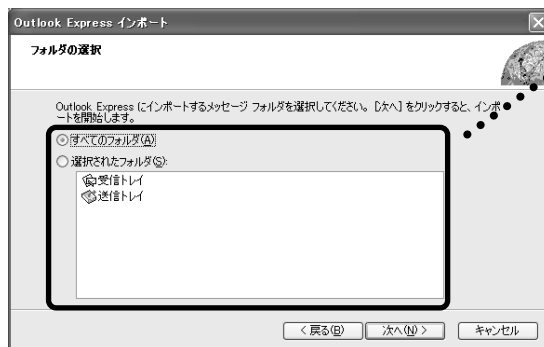
一覧より、[Microsoft Outlook Express 6]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

【Outlook Express 6からインポート】の画面が表示されます。

3

「Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする」にチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックします。

4

[参照]ボタンをクリックして、バックアップをとったデータの場所を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

5

「すべてのフォルダ」をチェックするか、「選択されたフォルダ」をチェックし、読み込ませたいフォルダを選択して[OK]ボタンをクリックします。

6

[完了]ボタンをクリックします。

以上でOutlook Express 6のメールのバックアップの読み込みは完了です。

Outlook Express 6のメールアカウントのバックアップを読み込む

1

Outlook Expressを起動した状態で、[ツール]メニューから[アカウント]を選択します。

【インターネットアカウント】画面が表示されます。

2

[インポート]ボタンをクリックします。

3

バックアップをとったiafファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。

以上でOutlook Express 6のメールアカウントのバックアップの読み込みは完了です。

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例等により、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

ソーテックは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピュータの製造等の事業を行う者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。

事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1 事業系のお客様から、リサイクル専用コールセンタにて受付。

2.全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。

3.リサイクルセンタへ運搬。

4.リサイクルセンタ及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、下記の電話番号にてご案内しております。

リサイクル専用コールセンタ

Free Call **0120-053-954**

9:00〜17:00(月〜金)
(弊社指定休業日はお休みさせていただきます)

この電話番号は、リサイクル専用です。
製品に関するサポートには対応しておりません。
サポートに関する情報は7ページをご参照ください。

個人でパソコンを所有している場合

廃棄方法に関しては、お住まいの各自治体にお問合せください(2002年1月現在)。

保証規定

［1］ 取扱説明書・本体貼付ラベルなどに従った使用状況で故障した場合は保証書の記載内容に基づき、無償にて故障個所の修理をさせて頂きます。
無償修理をご利用になる場合にはSOTECテクニカルサポートセンタに保証書をご提示の上、お申し付けください。

［2］ 製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものと致します。

［3］ 次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。

1) 保証書のご提示がない場合。
2) 保証書にお買い上げ年月日、保証期間、型名または品名、および製造番号または保証番号、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
3) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃、圧力など、お客様の取扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
4) お客様による使用上の誤り、分解あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
5) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、冠水の外部要因に起因する故障および損傷。
6) 製品に接続している当社指定以外の機器、および消耗品に起因する故障および損傷。
7) 消耗品の交換。

［4］ 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

［5］ 保証書は再発行致しません。大切に保管してください。

［6］ 保証期間内にご連絡いただけない場合は、有償対応とさせていただきます。

［7］ 記憶装置(ハードディスク、フロッピーディスク、RAMなど)に記録されたデータは、故障や障害の原因にかかわらず、保証いたしかねます。ご了承ください。

※この保証規定の内容は、お持ちの保証書(または仮保証書)に明示された期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。なお、保証規定の内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等につきましてはSOTECテクニカルサポートセンタ(7ページ)にお問い合わせください。

本製品は、人命に関わる設備や機器(医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など)や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

サポートのご案内

2002年2月　初版
株式会社ソーテック